

抗菌万能ガラスコーティング剤

ファイナルフィニッシュコート抗菌

「ファイナルフィニッシュコート抗菌」は約2ミクロンのシリカ薄膜で下地素材を簡単抗菌コーティングが可能です。

学校やオフィス、店舗、住宅設備をはじめとし、木材やスチール、石材、プラスチックに至る様々な素材に対し多用途に活躍しています。

特 徴

簡単施工

ワックスのように塗布し、軽くクロス等で拭き取るだけ

美観維持

光沢保持率が高く、艶の復元も可能

劣化抑制

紫外線による劣化を効果的に抑制

多用途型

スチール、石材等にも抜群の効力を発揮

安全性

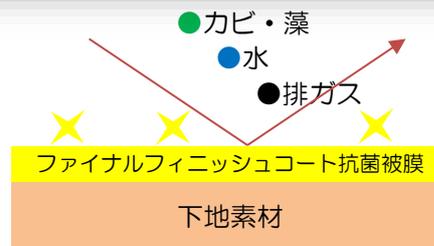
食品安全基準に適合したコーティング剤

万能型

木材へのコートでは抗菌、防汚、防カビ、防水等の効果を発揮

物質特性

項目	ファイナルフィニッシュコート抗菌
主成分	オルガノポリシロキサン
外観	薄黄色
性状	アルコール性液体
臭気	微アルコール臭
比重	1.00±0.05
pH	7



使用例

公共施設



オフィス



木材



調理室・厨房





性能

◆カビ抵抗性試験結果

下地素材：木片
 試験内容：大腸菌黄色ブドウ球菌サルモネラ菌を含む62種類の試験菌を使用したカビ抵抗性試験（培養期間：28日間）
 試験結果：「未処理の木片ではカビの激しい発育が確認されたがファイナルフィニッシュコート抗菌（FFC）処理の木片では、カビの発育が全く見られなかった」
 試験機関：（有）アール・シーウメハラ
 試験報告日：2016年12月5日



◆ホルムアルデヒド放出量の測定結果

下地素材：鉄板
 試験内容：JIS K5601-4-1：2012【塗料成分試験方法—第4部；塗膜からの放散成分分析—第1節；ホルムアルデヒド放出量の求め方】5. デシケータ法に準ずる。
 試験結果：「ファイナルフィニッシュコート抗菌のホルムアルデヒド放出量測定結果、不検出（測定下限値：0.03mg/L）を確認した」
 試験機関：一般財団法人日本塗料検査協会西支部
 試験報告日：2020年6月26日

◆促進耐候性試験結果

下地素材：木片
 試験内容：JIS K5600-7-7：2008促進耐候性及び促進耐光性（キセノンランプ法）準拠。試験時間：480時間、試験片ぬれサイクル：サイクルA、評価項目：膨れ、割れ、はがれ
 試験結果：「未処理の木片では試験基板に割れを認めた。ファイナルフィニッシュコート抗菌処理の木片では異常を認めなかった。」
 試験機関：一般財団法人日本塗料検査協会西支部
 試験報告日：2020年6月26日

試験項目	試験片	試験結果
促進耐候性 （キセノンランプ法） 480時間	FFC処理	異常を認めない
	未処理	試験基板の割れを認める

◆食品衛生法・食品、添加物等の規格基準

下地素材：鉄板
 試験内容：食品衛生法・食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）（一部改正：平成28年厚生労働省告示第245号）第3器具及びび容器包装D（1）一般規格
 試験結果：「ファイナルフィニッシュコート抗菌（FFC）の食品衛生法・食品、添加物等の規格基準適合を確認した」
 試験機関：一般財団法人日本文化用品安全試験所
 試験報告日：2017年1月5日

試験項目	規格値	試験結果
【材質試験】		
カドミウム	100 μg/g以下	適合
鉛	100 μg/g以下	適合
【溶質試験】		
重金属（Pbとして）	1 μg/mL以下	適合*
過マンガン酸カリウム消費量	10 μg/mL以下	適合

*使用温度100℃以下の条件

◆透水性

下地素材：木片
 試験内容：JIS A6909：2014建築用仕上塗材7.13透水試験B法に準じる。
 試験結果：「未処理の木片と比較し、ファイナルフィニッシュコート（FFC）抗菌処理の木片は透水量1/10以下に抑制することを確認した。」
 試験機関：一般財団法人日本塗料検査協会西支部
 試験報告日：2020年6月26日



◆鉄道車両用材料燃焼性試験結果

下地素材：木片
 試験内容：鉄道に関する技術上の基準を定める省令（平成13年12月25日国土交通省令第151号）第5節車両の火災対策等第83条による。（鉄道車両内装木部床面、壁、天井）
 試験結果：「ファイナルフィニッシュコート抗菌の難燃性判定を確認した」
 試験機関：一般財団法人日本鉄道車両機械技術協会
 試験報告日：2017年8月29日

株式会社日興

〒167-0043
 東京都杉並区上荻1-24-19
 シャイン荻窪ビルB1F
 TEL 03-3393-7641
 FAX 03-3393-7632
 URL <http://www.nikko-gp.co.jp>

代理店